

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第十四中学校 校長 塚原 洋

1 学校教育目標

- ① 進んで学ぶ人
- ② 礼儀正しい人
- ③ やりとげる人

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、言語に関する能力と豊かな人間性をもつ生徒を育てる。
- ② 学校図書館の図書や新聞の有益性を教え、情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、様々な表現力を育成し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 16,255 冊（蔵書基準冊数 14,560 冊）／ 蔵書率 112%（前年度末 115%）									
	② 新規購入図書 548 冊 ／ 廃棄図書 665 冊 ／ 増(減)冊数 117 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2	4	10	8	9	5	2	11	5	44
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： 12:30～17:00									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 7.2 冊									
	② 学校図書館利用率 %									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 16,268 冊（蔵書基準冊数 14,560 冊）／ 蔵書率 112%									
	② 新規購入図書 780 冊 ／ 廃棄図書 768 冊 ／ 増減冊数 12 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2	3	9	9	9	5	2	11	5	44
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： 10:45～16:30（前年度からの変更 <u>あり</u> ・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 7.5 冊（前年度末： 7.2 冊）									
	③ 学校図書館利用率 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育てる。 ② 学校図書、新聞を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する制度を育てる。 	
今年度の成果目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 昼休みの時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書をすることができる。 ② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。 	達成基準 <ol style="list-style-type: none"> ① 1年の生徒一人あたりの年間貸出平均冊数を3年前に戻す。 ② 図書や新聞、ICT機器を活用し探究活動の授業等を年5回以上実施するクラスの割合100% ③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100% 図書委員会の実施年間11回 図書だよりの発行4回

目標達成状況

- ① 1人あたりの年間貸出平均数 7.5冊
- ② 5回以上実施のクラス 22クラス中1クラス
- ③ オリエンテーション受講率、委員会の年間実施、図書だよりの発行 いずれも100%達成できた。

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 <ul style="list-style-type: none">・蔵書：古い蔵書や傷んだ蔵書を生徒に希望で処分する。・配架：広く見やすくなるよう、棚の移動をする。	・蔵書の処分により、空きスペースができ、配架も見やすくなるよう工夫でき、全体的に見やすくなった。
【学校図書館支援員との連携・協働】 <ul style="list-style-type: none">・本の入荷、生徒の利用状況、確実な返却のために、委員会や日頃の授業を通して定期的に連携する。	・充実した図書館となるよう努力できた。若干落ち着きのなくなった時があったが、該当学年の教員との連携のおかげで改善した。未返却が多いため早目の呼びかけで改善したい。
【その他】 <p>今年度は、学校外の関係機関との連携や協働は行わなかった。</p>	・学校行事の多い学校のため、なかなか時間をつくりだすのが難しかった。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ・一人あたりの本の貸し出し数が若干増加したが、それに伴い落ち着きのない生徒も増えてしまったことが課題である。教職員の協力を継続していく。
- ・クラスごとの利用が、あまりできなかった。前年度は、行事前の事前学習として学年の利用があったので、次年度は、早目の計画準備をしていく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・大規模の学校であるが、落ち着いた雰囲気の良い図書館である。
- ・蔵書も整い、見やすく、利用しやすい。
- ・多くの生徒が知識を得る良い環境となるよう、これからも期待しています。